

2019年度第2回伊賀地区福祉有償運送等運営協議会 会議概要

日 時：2019年9月9日（月）午後3時00分～午後4時50分

場 所：伊賀市役所4階 401会議室

出席者：福岡委員、北森委員、大西委員、福澤委員、久世委員、西山委員、中平委員、浅利委員、藤野委員（代理）

欠席者：深井委員、小谷委員、作田委員、川口委員、森澤委員、小川委員

傍聴者：0人

事務局：伊賀市 藤林、前田、福田 名張市：田中、松岡

1. あいさつ

伊賀市介護高齢福祉課長よりあいさつ

2. 議事

（1）平成30年度下半期運営状況報告【資料1～19】

事務局から、資料1～19に基づき説明。

<質疑応答>

委 員：自動車登録簿の所有者欄は、車検証のとおりに記載されると思うが、事業所毎での記載が統一されていないため、統一すべきではないか。

事務局：次回以降の報告から統一します。

委 員：運転者名簿で数名、事故・違反履歴に記載あるが、業務中のものかそうでないのか。

事務局：確認します。

委 員：運転手不足に関して、事業所からの苦情等はないか。

事務局：特に苦情はないが、運転手不足は深刻な問題と考えている。

定年が伸びたため、在籍年数は長くなっているが、運転手の確保に繋がっておらず運転手不足の解消には至っていない。

事業の廃止を行う際にも、人手不足から廃止に係る手続きに直ぐに移行できない事業所があった。

委員：会員数が減少するとはどういうことか。

事務局：会員の死亡による利用者の減少が主な要因となっている。

委員：運転手不足により、新規会員を受け入れておらず、会員数の減少に繋がっている。
現会員でも、運転手不足から片道のみ利用などの制限が生じることから利用日の調整をお願いすることや利用を断らざるを得ないこともある。
また、運転手の募集をかけているが、65歳以上の高齢者数名の応募があるのみ。
安全面を重視すると65歳以上の運転手は、断らざるを得ないこともある。

委員：65歳以降も本人の意思でドライバーとして従事してもらうことはあるが、安全面を考慮し、使用する車種を運転手にあわせるリスクマネジメントを行っている。
しかし、家族からの声もあり、定年を迎え、退職することもあるため、65歳以上のドライバーは減っている。

委員：人手不足は、どこの業界でも問題になっている。
長期間労働で、賃金が低いなどに対する対策が必要。

(2) 自家用有償旅客運送の更新登録申請について【非公開】

3. その他

事務局（名張市）：新規事業所の相談を受けている。
タクシー協会に一度協議したのち、協議会へ諮る予定。

委員（支局）：福祉有償運送を行う事業所であれば、運営協議会を以て登録の可否を決定するため、タクシー協会への協議は不要である。
事前に申請があった旨を伝えることだけで差し支えない。

事務局：承知致しました。
新規事業所の申請状況より、当初の第3回運営協議会開催予定日から変更となる可能性があるため、決定次第文書にて通知します。

委員（会長）：以上で会議を終了します。